

児島湖ヨシの刈取り・リサイクル事業

1 事業の概要

ヨシ群落は、児島湖の鳥類・魚類の繁殖の場として重要な役割を担っており、このヨシ群落を良好な状態に保つためには、冬季に枯れた茎を刈り取って株の再生を促すことが必要です。また、湖水に含まれる窒素やリンを吸収して成長したヨシを冬季に刈り取り、湖外へ持ち出すことが児島湖の水質保全に役立ちます。

そこで、ヨシの刈取り及びごみの回収作業を行うとともに、刈り取ったヨシをリサイクルすることで有効に活用しました。

さらに、県内の児童・生徒・一般の方を対象に、ヨシの刈取り作業やヨシを使ったリサイクル工作を体験する機会を設けました。

2 令和元年度実績

(1) ヨシの刈取り及びごみの回収

①ヨシの刈取り

区 域	面積 (m ²)	重量 (kg)
灘崎北七区	2,100	2,400
笹ヶ瀬橋付近	26,100	29,410
八浜・親水公園	1,900	2,250
合 計	30,100	34,060

②ごみの回収

分 類	可燃物	ガラスくず等	廃プラスチック類	合計
数量 (kg)	130	70	240	440

<ヨシの刈取り>



<ごみの回収>



(2) ヨシを活用したリサイクル品

刈り取ったヨシは、畑の改良剤やマルチング材*として活用しました。

また、刈り取ったヨシの一部を用いてヨシ紙製品を作成し、ハガキを関係団体に配布するなど、広くヨシの水質保全効果などの理解を深め、児島湖の水質保全への関心を高めました。

※マルチング材…土表面に敷き詰め、土の乾燥や雑草の繁殖を防ぐ資材

再生利用の用途	ヨシの使用量 (kg)
チップ (マルチング等)	33,000
ヨシ紙	860
切り花等栽培補助材	200
合計	34,060

<マルチング材として再利用>



<ヨシ紙を使用したハガキ>



<切り花栽培補助材として再利用>



(3) ヨシの刈り取り体験

児島湖に親んでもらうとともに、廃棄物のリサイクルなど環境保全に関する関心を高めるために、高校生を対象にしたヨシの刈り取り体験及び清掃活動を実施しました。

① ヨシの刈り取り体験

学校名	参加者数	備考
津山工業高等学校 工業化学科1年生	40名	刈り取り後に、ごみの回収も併せて実施
興陽高等学校 造園デザイン科1年生	27名	

② 実施風景

<ヨシ刈り体験を行う津山工業高校の皆さん>



<散乱したゴミの回収>



<ヨシ刈り体験を行う興陽高校の皆さん>



<散乱したごみの回収>



(4) 工作体験及び環境学習

児島湖の環境保全やヨシの水質保全に係る役割などを学習するとともに、刈り取ったヨシを利用したゴム鉄砲や花瓶などの工作に取り組んでもらい、リサイクルを体験する機会を設けました。

①参加者

団体名	参加者数	体験内容
玉野市立八浜小学校 5 年生	29 名	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習（児島湖の水質、ヨシの働きなど） ・工作体験（ゴム鉄砲、花瓶、写真立て）
一般公募	15 名	環境学習（バスにて児島湖周遊）
	19 名	工作体験（ゴム鉄砲、花瓶、写真立て）

②実施風景

〈ヨシの工作を行う八浜小学校の皆さん〉



〈ヨシの工作を行う一般公募の皆さん〉



〈ヨシを用いて制作した花瓶〉



〈ヨシを用いて制作した写真立て〉



【担当部署】 環境文化部 環境管理課 水環境湖沼保全班